

# 第1章 子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の方向性

< 幼児教育の  
意義・役割 >

**幼児教育** ・ 生涯にわたる人間形成の基礎を育む役割  
 ・ 学校教育のはじまりとして「生きる力」の基礎を育成する役割

幼児教育とは 小学校就学前の幼児に対する家庭・地域社会・幼稚園等施設において行われる教育の総称

幼児教育は重要

これまでの取組： 量的拡大，教育要領改訂等質的向上，  
「幼児教育振興プログラム」の推進等

< 幼児教育の今日的課題 >

( しながら ) 近年の子どもの育ちが何かおかしい。【 今日的課題 】

子どもの育ちの変化

基本的な生活習慣の欠如    コミュニケーション能力の不足    自制心や規範意識の不足  
 運動能力の低下    小学校生活への不適応    学びに対する意欲・関心の低下    等

< その背景 >

我が国の社会の急激な変化に伴う教育力の低下

少子化，核家族化，都市化，情報化等の経済社会の急激な変化  
 人間関係の希薄化，地域における地縁的なつながりの希薄化，大人優先の社会風潮など

地域社会の教育力の低下

子どもどうして遊び，葛藤しながら成長する体験の機会の減少  
 身近な自然や遊び場の減少  
 近隣の大人の無関心

( 影響 )

家庭の教育力の低下

子育ての孤立化による  
 (親の) 育児不安や情緒不安定  
 子育てに夢を抱きづらい状況・意識  
 過重な労働等の子育てへの影響

( 影響 )

幼稚園教員等の今日的課題

家庭や地域社会の教育力の低下等の課題に対応するため，  
 資質・専門性を高める必要  
 一方で，教員等自身の成長過程における多様な体験の不足  
 保育を構想し実践する能力，  
 保護者等との良好な関係を構築する能力が不足する傾向

家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者の対応が不十分

将来にわたる子どもの健やかな成長への危機感

対応の必要

< 今後の幼児教育の方向性 >

- 1 家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者による総合的な幼児教育の推進
- 2 幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実